

研究実施のお知らせ

研究科題名

老年看護学実習Ⅰにおける受け持ち患者と看護技術経験の実態

研究の対象となる方

2024 年度～2027 年度に新カリキュラムの老年看護学実習Ⅰを履修した看護学生です。

研究の目的・意義

2024 年度より新カリキュラムが施行され、老年看護学実習Ⅰは 3 週間から 2 週間に実習期間が変更になりました。併せて、実習病棟が 4 病棟から 2 病棟に変更となっています。以上のことから、老年看護学実習Ⅰの実習記録である看護技術経験回数・到達度チェックリストを基に、老年看護学実習Ⅰにおける受け持ち患者と看護技術経験の実態を明らかにすることを目的とします。このことが明らかになることで、講義や演習・実習の効果・課題・改善点といった老年看護学領域の教育に対する示唆が得られると考えています。

研究の方法

1) データ収集方法

老年看護学実習Ⅰの実習記録である「看護技術経験回数・到達度チェックリスト」から本研究に必要な情報を収集します。

2) 使用する情報

使用する情報は、受け持ち患者の「BADL (バーセルインデックスの項目に沿って記載されたもの)」、「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」、看護技術チェックリスト内各項目の見学回数と実施回数です。

なお、研究に使用する実習記録は、個人情報管理者が学生番号や氏名といった個人情報を削除し、匿名化された後に研究者は受け取ります。そのため、研究者は個人を識別することはできません。

3) 分析方法

上記のデータを用いて、年度ごとに受け持ち患者と看護技術経験の実態を記述統計にて整理します。

4) 個人情報の取り扱いについて

個人情報管理者によって記録に記載されている学生番号と氏名を削除されたデータを研究責任者は受け取ります。そのため、研究責任者および研究分担者は、個人が特定できるデータは取り扱いません。収集したデータは、パスワードを設定した USB を用いて、外部から容易にアクセスできない方法で管理します。

5)情報の保存

本研究に使用したデータは、研究終了後 10 年間保存します。なお、保存したデータは本研究のみに用い、他の目的では使用しません。研究結果の知的財産権は島根大学に帰属します。

研究の期間

島根大学医学部看護研究倫理委員会の承認後～2030 年 3 月 31 日

研究の公表

本研究の結果は、日本老年看護学会、紀要等で公表する予定ですが、個人情報特定されることはありません。

研究組織

この研究は以下の体制で行います。

研究責任者：島根大学医学部地域・老年看護学講座 助教 宇都宮咲子

研究分担者：島根大学医学部地域・老年看護学講座 教授 原 祥子

島根大学医学部地域・老年看護学講座 准教授 加藤真紀

個人情報管理者：島根大学医学部地域・老年看護学講座 講師 土江 梨奈

この研究は、島根大学医学部看護研究倫理委員会で審議を受け、医学部長の許可を受けて実施します。ご自身の情報を研究に利用してほしくない場合はデータから削除しますので、2027 年 3 月 31 日までに下記 Forms へ学生番号と氏名をご入力ください。入力されたデータは個人情報管理者のみが確認し、同意撤回の意思を研究者が確認することはありません。同意撤回されたことによって何らかの不利益を受けることもありません。

ただし、期日以降にご連絡いただいても個人を特定できる情報を削除したデータを取り扱うため、同意撤回の意思を反映することができませんのでご了承ください。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は研究責任者にご連絡ください。

島根大学医学部地域・老年看護学講座 助教

研究責任者 宇都宮咲子

連絡先：saki1228@med.shimane-u.ac.jp

「老年看護学実習Ⅰにおける受け持ち
患者と看護技術経験の実態」同意撤
回入力用Forms（2025年度履修生

